

スタートアップ部門 まちづくり活動計画書

1 助成を受けようとするまちづくり活動について

団 体 名	正色学区生活安全委員会
まちづくり活動名	かつての漁師町・歴史のあるまち“下之一色町”をもっと魅力あるまちに！
活動地域	名古屋市中川区正色学区内
活動の背景	名古屋市中川区下之一色町（正色学区）はかつての漁師町で昭和初期には最盛期を迎えました。伊勢湾台風を機に漁業権を放棄した後は、賑わいは徐々に失われ、高齢化が進み、子どもの数も減少しています。そのような状況下、学区の魅力を向上させ、学区居住者が安心して暮らせるまちをつくっていくことを目的として、2019年4月に会を発足させました。
目的・目標	<p>(活動の目的と、活動により実現したい目標及び成果を具体的かつ簡潔にご記入ください。)</p> <p>■目的 学区居住者（特に高齢者）が安心して暮らせるまちづくり、学区の歴史を皆で誇れるようなまちづくり等を推進することで、学区の魅力を向上させることを目的とします。</p> <p>■目標 令和三年度の目標として、学区内ボランティア活動の実施、学区の歴史を居住者が再認識できるようなイベント等の取組みを実施していきたいと考えています。</p> <p>■成果 これらの取組みの積み重ねにより、学区居住者が学区の魅力を再認識し、今後も学区に住み続けたいと思えるようになったとき、成果としてみなすことができると考えます。</p>
活動内容	<p>(上記の目的、目標に沿って、活動内容や実施方法を、具体的かつ簡潔にご記入ください。)</p> <p>会発足以降、月に一回の定例会を実施し、学区が抱える課題を抽出し、対応案を皆で議論しています。高齢者に配慮したまちづくり、居住者が安心して暮らせるまちづくり、学区の歴史を活かしたまちづくりなどを大きな柱として、話し合いを進めています。</p> <p>令和2年度に会を発足させた後、「高齢者の買物難民対策の検討」、「地域ボランティアの募集」、「下之一色町の歴史を内外へ発信」等に取り組みました。ホームページを新たに開設し、学区居住者に対する委員会活動の周知にも努めています。</p> <p>令和3年5月には移動スーパー「とくし丸」が学区内で営業を開始しました。これにより高齢者の買物の利便性が高まりました。6月には募集した地域ボランティアによる活動の第一弾として学区内清掃を実施する予定です。</p> <p>今後は、「下之一色町案内（昭和3年発行）」を復元し各世帯へ配布したり、「昔の漁師さん、魚市場の方からお話を聞こう（仮称）」イベントを開催したりすることで、漁師町であった学区の歴史を振り返りつつ、下之一色町の歴史を再認識する試みを実施する予定です。なお、令和5年度には正色小学校が開校150年を迎えるため、正色学区生活安全委員会として、小冊子を作成することを検討中です。</p>

活動予定 期	令和3年4月 ～ 令和6年3月	
助成金交付 申請額	50,000円	※1回目（上限5万円） ※2回目、3回目（上限10万円）

2 まちづくり活動の視点

以下の視点で活動内容についてご記入ください。

審査基準① 必要性	<ul style="list-style-type: none"> ・地域に根ざしたまちづくり活動内容か ・自分たちの住んでいる地域を住みよい環境にする活動か ・活動の実施にあたって、まちづくり活動助成金が必要な活動か ・活動メンバーのみの趣味や仲間づくりではなく、多くの人に理解や共感が得られる活動か
<p>（活動の必要性について、上記観点から分かりやすくご記入下さい。）</p> <p>下之一色町は江戸時代から続く漁師町で、歴史あるまちです。しかし、学区居住者が下之一色町の歴史に触れる機会がこれまであまりなかったため、歴史に触れるきっかけづくりが必要だと考えました。</p> <p>そこで、令和二年度、委員会活動の一環として、明治時代以降の下之一色を写す貴重な写真を収集しウェブ上で公開しました。この取り組みは、学区の掲示板、回覧版で周知しましたが、インターネット環境のない高齢者は閲覧することができないといった課題を残しました。そこで、紙媒体で学区の歴史を共有することの必要性を感じました。</p>	
審査基準② 実現性	<ul style="list-style-type: none"> ・活動内容が具体的になっているか ・活動内容の資金計画などは妥当か ・人員や規模などは妥当か
<p>（活動の実現性について、上記観点から分かりやすくご記入下さい。）</p> <p>○「下之一色町案内（昭和三年発行）」の配布 データは既に保有しているため、実作業としては印刷製本のみです。製本後、学区連絡協議会と連携して、町内会長さんを通じて各世帯に配布することが可能です。</p> <p>○「昔の漁師さん、魚市場の方からお話を聞こう（仮称）」イベントの実施 今後、生活安全委員会として、話し手の人選等を行います。下之一色町は人情味のあるまちですので、快く引き受けただけだと思います。なお、会場は正色コミュニティーセンターを予定しており、委員会の会合を実施している場所でもあるので、会場面での不安はありません。イベントは小規模なものを想定していますので、生活安全委員会のメンバーで対応することが可能です。</p>	
審査基準③ 発展性	<ul style="list-style-type: none"> ・今後の活動の発展にむけての視点や計画があるか ・活動実施後に、地域のまちづくり活動にどのような波及効果を及ぼせるか
<p>（活動の発展性について、上記観点から分かりやすくご記入ください。）</p> <p>上記の取り組みを始め、今後も継続して下之一色の歴史を内外に発信することにより、ご高齢の方は昔を懐かしむことができ、小中学生には地域の歴史に触れる機会を与えることができます。三世代が下之一色の歴史を語り合うことを理想とします。</p> <p>これらの活動をきっかけに、地域住民が一体となり、下之一色町の魅力を再認識、創出していくことにつなげていきたいと考えます。</p>	

3 活動にあたり他団体（町内会、自治会他）、企業、行政の部署など協力する又は調整を図る必要がある場合には、その名称と内容を記入してください。既に連絡等を取っている場合にはその日付も記入してください。

名 称	内 容
正色学区連絡協議会 中川区役所地域力推進室 中川区社会福祉協議会	各世帯への周知についてご協力をいただきます。 オブザーバーとして会に参席していただいています。適宜、情報提供や各種相談にのっていただいています。

※第2号様式は3ページ以内でご記入ください。用紙の大きさは、日本工業規格A4とする。

まちづくり活動の実施スケジュール

・活動の実施日だけでなく、それに向けた準備（団体の打合せ、広報）についても具体的に記入してください。

・1ページにおさまるように記入してください。

年	月	活動項目	活動内容
2021	4		
	5	定例会 (毎月第4火曜日)	委員会にて、まちづくり活動助成申請書の最終確認をする。
	6		
	7	定例会 (毎月第4火曜日)	◎委員会にて、「昔の漁師さん、魚市場の方からお話を聞こう(仮称)」における構成、話手の人選等を検討する。
	8	定例会 (毎月第4火曜日)	◎話手を決定し、委員会内で確認を行う。
	9		◎イベント開催を学区へ周知する。
	10	定例会 (毎月第4火曜日)	●委員会にて、「下之一色町案内(昭和三年発行)」の印刷内容を確認する。
	11		◎イベント開催
	12		●印刷発注
2022	1		
	2	定例会 (毎月第四火曜日)	●委員会で確認後、学区内配布
	3		

備考 用紙の大きさは、日本工業規格A4とする。

まちづくり活動の予算書

1 支出

計画書の活動における支出（予算）をご記入ください。

	費目 手引きの費目を参照	活動項目	内訳・算出根拠	金額 (円)
まちづくり活動助成金（申請金額） ※活動経費の内、助成対象となる経費が対象です。 ※上限金額：1回目は5万円、2回目、3回目は10万円				50,000円
活動経費の内訳	印刷費		「下之一色町案内（昭和三年発行）」の印刷費	49,000円
	会場賃借費		コミュニティーセンター（半日）	1,000円
支出合計				50,000円

※1ページにおさまるよう記入してください。用紙の大きさは、日本工業規格A4とする。